

第4回農林大学校林業研修部公開講座

森林・樹木講座

テーマ「和歌山のサクラ (仮称：クマノザクラ等)」

講師：和歌山県林業試験場長 城戸 杉生

【講座の内容】

「山又山山さくら又山桜」の句碑が、新宮市熊野川町日足の総合開発センター前に建立されています（句集『甲子園』には「山又山山桜又山桜」で収録）。作者は阿波野青畝（あわのせいほ、1899年（明治32年）2月10日 - 1992年（平成4年）12月22日）で奈良県出身の俳人、昭和初期に山口誓子、高野素十、水原秋桜子とともに「ホトトギスの四S」と称されました。

青畝は、幾度となく当地を訪れ、ソメイヨシノではなく、行けど行けど山々に見る桜の景観に感銘したに違いありません。改めて紀南の自然の奥深い美しさが思われます。

この山桜は、これまでヤマザクラとされてきたのですが、平成29年3月に森林総合研究所のサクラの専門家がその中に新たなサクラがあると発表し、新聞等で話題になりました。仮称クマノザクラです。

講座では、その特徴や調査による開花時期、分布などについてお話します。なお、活用については今後の研究課題でもあり、皆さんからの情報もいただきたいと考えております。

* 写真は林業試験場だより第79号(2017.8)より転載



開催日時：平成30年2月24日（土曜日）午後1時から3時まで

場 所：

申 込 先：農林大学校林業研修部

（お問合せ）電話 0739-47-4141

林業研修部に直接電話で申込

申込時間は土日除く平日の午前9時から午後5時30分

募集定員：50名（先着順）

募集締切：平成30年2月19日（月曜日）